

同窓さふさ

特別号

2025年 2月 発行
(令和 7年 2月)

千葉県立匝瑳高等学校
同窓会事務局

〒289-2144 千葉県

匝瑳市八日市場イ1630

TEL. 0479-72-1541

FAX. 0479-73-6146

代表：加瀬 博夫

千葉県立匝瑳高等学校創立100周年記念事業特別号



創立100周年記念式典

千葉県立匝瑳高等学校は、1924年（大正13年）4月10日に開校し、2024年（令和6年）創立100周年を迎えました。

匝瑳高校同窓会では、令和4年に創立100周年記念事業期成会を組織し、100周年の記念事業を計画し実施いたしました。

本号では、母校創立100周年記念事業を紹介します。



の100年に向けて 記念式典を挙



令和6年11月8日

(金)、千葉県立匝瑳高等学校創立100周年記念式典が、匝瑳高等学校体育館で開催されました。

午後1時20分、和太鼓の連打により、会場が厳粛な空気に包まれるなか、式典は開始されました。生徒が行うピアノ伴奏と指揮による国歌斉唱に続き、匝瑳高校澁谷義範校長(高37)の式辞、100周年記念事業期成会渡邊順一会長(高21)のあいさつが述べられました。

続いて、式典にお越しいただいた来賓を代表し、千葉県知事「熊谷俊人氏」、千葉県教育委員会教育長「富塚昌子氏」、地元選出千葉県議会議員「宇野裕氏(高28)」より祝辞をいただきました。

来賓紹介の後、感謝状が千葉県教育委員会教育長から渡邊順一期成会長へ贈呈され、その後、期成会長・校長感謝状が92名の方に授与されました。受賞者代表として加瀬健司氏(高30)が謝辞を述べました。

生徒を代表して生徒会長・

記念式典・校長式辞

匝瑳高等学校 澁谷 義範 校長(高37)

千葉県立匝瑳高等学校創立100周年記念式典を開催するに当たり、この歴史的な節目を迎えられたことに、心から感謝申し上げます。

今から100年前、地域の子どものための教育のため、その将来のため、趣旨に賛同した多くの海匝地域の人々が、本校設置の機運を盛り上げ、多額の浄財と広大な校地の寄付を得て、大正13年(1924年)4月10日、旧制千葉県立匝瑳中学校は開校いたしました。

初代校長・草野先生は、その秀徹した教育哲学をもって学校経営の基盤を確立され、戦後の学制改革を経て新制高等学校として生まれ変わった後も、本校は「至誠・剛健・快活・高雅」の校訓に基づき、生徒の人間的成長と学問の発展に努めてまいりました。

「至誠」とは、誠実に他者と向き合い、自分の言動に責任を持つことを意味し、「剛健」とは、心身を鍛え、困難に立ち向かう強さを育むことを指します。「快活」は、明るく前向きに物事に取り組む精神を表し、「高雅」とは、品位と知性を兼ね備えた人間性を目指すことです。この四つの言葉が、本校の教育の根幹を成し、生徒の成長を支えてまいりました。

本校が今日まで発展を続けることができたのは、この校訓を実践し、多くの困難を乗り越えてきた卒業生や教職員、そして地域の皆様の支えがあったからこそと考えております。

卒業生の皆様。皆様が本校で学んだ校訓の精神は、社会で活躍する中で大きな力となっていることと存じます。そして、その姿勢は、在校生にとっても大きな励みとなっております。どうかこれからも、後輩を見守り、お支えいただければ幸いです。

在校生の皆さん。皆さんはこの匝瑳高等学校の一員であり、伝統を受け継ぐと同時に、未来を創造していく大切な存在です。校訓の精神を、これからも日々の生活の中で実践し、自分自身を磨き続けて欲しいと願います。これらの価値観を持

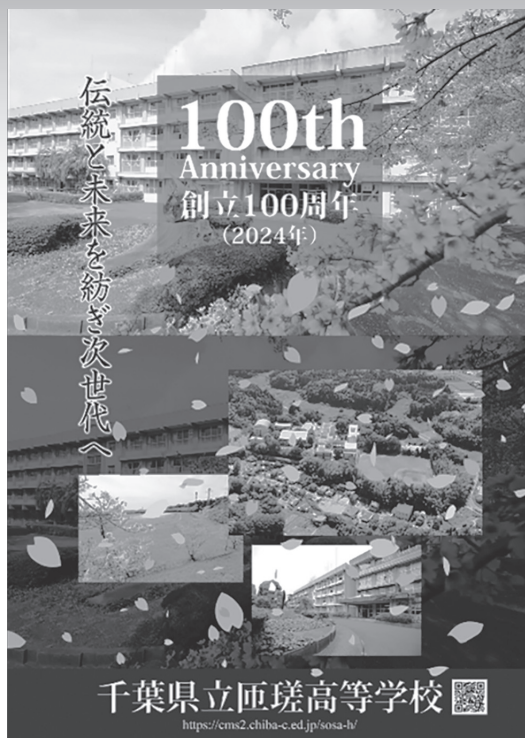


式辞を述べる澁谷校長

つことで、未来に向けてしっかりとした基盤を築くことができると確信しています。

私たち教職員も、時代の新しいニーズに応えるため、また次の100年に向け、校訓『至誠・剛健・快活・高雅』のもと、匝瑳高等学校の伝統と教育理念を守り続けるとともに、今年度から始まった『進学を重視した総合学科』の教育活動の中で、『障害や困難に遭遇しても、しなやかに乗り越えて、粘り強く進み続けることができる…持続Sustain』『自分の考えなどを、適切な方法を用いて相手にわかりやすく伝えることができる…表現Output』『新たな知識・技能を積極的に吸収し、既に習得している知識・技能と組み合わせることができる…統合Unify』『相手の言動を公平な視点で分析し、理解しようとすることができる…共感Sympathy』『自分が目指す進路を積極的に探求することができる…大志Ambition』これら五つの資質能力の頭文字『S.O.U.S.A.』＝『匝瑳』を育成し、生徒一人ひとりが『すすんで新しいことに挑む、豊かな人間性を持った人材』となり、豊かな心と確かな知識を持って社会に羽ばたいていけるよう、全力で支援してまいります所存でございます。

最後に、今後も千葉県立匝瑳高等学校が地域に愛され、更なる発展を遂げることを祈念いたします。



伝統を守り受け継ぎ次 創立100周年

渡邊期成会長



白石詩織さんからお礼の言葉が述べられた後、一同で校歌を斉唱、式典は閉会いたしました。

期成会長式典あいさつ

創立100周年記念事業期成会 渡邊 順一 会長(高21)

母校、匝瑳高校、創立100周年、誠におめでとうございます。100周年記念事業を行います期成会、会長を務めさせていただきました、高21回の渡邊順一と申します。

本事業を達成するため、2年余り前より準備を始めさせていただきました。その間、多くの皆様の御協力をいただき、この度、記念式典を迎えることができました。この式典に際しましては、多くの御来賓の皆様、そして、多大なる御協力をいただきました皆様の御列席のもと、盛大に記念式典が開催されたことを心より御礼を申し上げます。

思い返せば、創立50周年の折、学校を卒業して家業を継ぐため地元に戻ってきた私は、「同窓会に顔を出すよう」先輩方からお声がけをいただきました。しかし、当時はまだ旧制匝瑳中学卒業生の大先輩一色の同窓会でした。そんな中、新制高校卒業の先輩方から「高校卒も認めてほしい」という運動もあり、やがて高校部会が発足致しました。「高校部会でも何か50周年の仕事を何かさせていただけませんか」との動きがあり、50周年記念碑の作成を担当することとなりました。早速、記念碑建設委員会が高校6回の委員長以下12名というスタッフで始まり、その一番末席に私がおりました。それが同窓会で働かせていただく初めでした。その後、60周年、70周年は学年代表幹事、80周年はPTA会長、90周年は同窓会長ということで期成会の副会長を務めさせていただきました。

これが最後と思っていましたが、図らずも、今回、100周年の期成会長ということで御指名をいただき、母校のためになればという思いから務めさせていただくこととなりました。

さて、期成会の運営、100周年記念事業の実施について、まずは、従来に倣いまして委員会を作りました。総務委員会、募金委員会、記念誌委員会、会計委員会。従来ですと、もう一つ建設委員会という委員会がありましたが、今回からは「教育環境整備委員会」という委員会を設けました。

周年記念事業は、皆様からお預かりをいたしました貴重な

募金を、どのように有意義に活用するかが最も重要と考えております。過去の周年事業において、50周年では「校舎の全面改築・公式競技もできる陸上競技場の整備・弓道場の新築」、60周年では「同窓会館兼合宿所となる至誠館の建築」、70周年では「地域交流棟（西城館）の建築」、80周年では「トレーニングルームの建築・中庭東側部分の整備」、90周年では「視聴覚教室の改築・中庭西側部分の整備」と、建築・建設分野を多く行ってまいりました。しかし、時代の変遷とともに建築・建設は難しく、今、学校に必要なものはどちらかといえばソフト面ではないか、ということで「教育環境整備委員会」を設け、考えていくことといたしました。

この委員会を中心に、幅広く、より多くの方々から御意見御希望を伺いながら、そしてまた、ほかの委員会からの案をいただきながら、検討を重ね、細かく、広範囲に多岐にわたり、多様な事業を計画させていただきました。

計画の実行といたしましては、早いものでは今年の4月から定時制の教科書の無料配布を行いました。このほか、いろいろ学校で必要なものを購入、導入することとしております。そして、これから10年かけて、90周年から引き継いでおります教育助成資金ということで活用していくことといたしました。

この計画が、募金をいただいた多くの皆様の御理解をいただき、そして、実際に、現場でこれを活用していただく先生方、在校生の皆さん、そして、やがて入学して来られるであろう新入生の皆さんに、心から喜んでいただけるものになれば幸いです。

結びに、我が匝瑳高校が、いろいろな分野で皆様から認められ、ますます郷土の名門という発展を遂げられますよう、そしてまた、それを支えていく同窓会活動が、より活発に展開されますことをお祈り申し上げます。

感謝状贈呈者御芳名

記念式典で感謝状を贈られた方を紹介します（敬称略、順不同）。

<千葉県教育委員会教育長感謝状>（1名）

渡邊 順一（創立100周年記念事業期成会長）

<期成会長・校長感謝状>（92名）

元 校 長…長谷川茂（25代） 加瀬健司（26代） 小西薫（27代）

元同窓会長…宇野健一 關範雄 齊藤元久 林勝美 佐藤正樹 鷗之沢正吉 南波隆 阿曾博通
加瀬健司 椎名和浩

元PTA会長…太田和広 渡邊錦一 梅原利夫 萩原優 鎌形健 須合勝雄 宇井信一 小川恵子

篤 志…久古榮二 林新二郎 齊藤清 平野鐵三郎 渡邊順一 川島良一 飯島英胤 川手一宏
佐藤正樹 山崎忠義 加藤芳子 安藤剛 根本勝弘 萩原吉春 老沼操 鈴木敦子
杉浦雅美 伊藤清 片山暁 關範雄 高橋洋子 堀越利一 小関公人 高田弘子
齊藤元久 加瀬博夫 藤代洋一 加瀬健司 安藤信治 鷗之沢正吉 向後延恒 高岡和子
齊藤徹 阿部四郎 青澤晴美 宇井勝 石井幸成 岩井和徳 荒井淳一 片山勲
松井千里 佐藤正己 鈴木陽一郎 土佐容代 酒井美智子 畔蒜毅 鎌形豊 菱木智仁
鈴木勝彦 鎌形喜昭 金杉光明 鈴木正浩 椎名和浩 山崎吉高 加瀬雅章 澁谷義範
桑田克己 松本剛史 林和義 鈴木正浩 川嶋義久 三輪正光 阿曾博通 南波隆
宇野典男

阿部建設株式会社 株式会社畔蒜工務店 T-LIFEパートナーズ株式会社

木村屋金物建材株式会社 ダイユウホーム株式会社 ちばみどり農業協同組合

<校長感謝状>（9名）

学 校 医…福島俊之 檜垣進 守正英 佐藤晴彦

学 校 歯 科 医…江波戸寛 寺本定男 勝山慶一

チャレンジ応援基金…太田昭吉 穂田誉輝



お礼を述べる白石さん

生徒代表、お礼のことば

生徒会長 白石詩織さん



100周年の記念として、期成会・同窓会・PTAの皆様のおかげで私たちの学びの環境がより快適なものへと変わりました。多くの生徒の机には拡張板が設置され、1・2年生が授業で使用するタブレットを置くスペースが確保されました。机上の環境が整うことで私たちはより快適に授業を受けられるようになりました。加えて、校内の数か所には防犯カメラが設置されました。防犯カメラの設置により、より安心安全な学校生活を送れるようになるだろうと思っています。他にも匡蹉高校の発展のために様々なご支援をいただきました。社会変化の厳しいこの時代に合わせて有意義な学校生活を送れるようにと支援してくださった期成会・同窓会・PTAの皆様、本当にありがとうございます。

100年という長い間積み重ねられた歴史や伝統が変わったわけではありません。これまで支えてくださった保護者の皆様や地域の皆様・先生方のおかげで充実した日々を送れていることを忘れず、何事にもめげずに挑戦します。3年間という限られた短い時間の中で、仲間と協力しともに高めあいながら目標に向かって誠実に過ごしていこうと思います。本校の校訓である「至誠」「剛健」「快活」「高雅」を目標とし、匡蹉高校生として自覚をもって多くの方の期待に応えられるよう努力していきたいです。

最後に、100年間多くの先輩方が築き上げた伝統を受け継ぎそれぞれの夢に向かって日々努力を惜しまず、先輩方のように社会で大きく貢献できる人になれるように精進することを誓います。

記念講演

「さらばいざもろともに」

夢について、

講演・ディスカッション

創立100周年記念式典終

了後、国保八日市場市民病院で地域医療部長を務める齋藤学さん（高42）を講師として、記念講演会が開催されました。

齋藤さんは、本校理数科出身で順天堂大学医学部卒業後、国保旭中央病院にて3年間勤務。その後、沖縄県の浦添総合病院において救命救急センターの立ち上げに参画し、センター長に就任。フライトドクターとして離島医療に携わる中で、厳しい医療現場の実態を目の当たりにし、鹿児島県の徳之島で離島医療に挑戦。これを契機に、合同会社ゲネプロを設立し、



生徒たちとのパネルディスカッション



講師 学さん（高42）
齋藤

2017年に「日本版離島・

へき地医療プログラム」をスタートさせました。同プログラムの評価と改良を図るべく、順天堂大学大学院（医学教育研究室）に進学し、医学博士を取得。2020年より、テレビドラマ『Dr.コトー診療所』のモデルとなった鹿児島県の下甕島にある手打診療所所長として、離島医療の現場を牽引してきました。2024年4月より匝瑳市民病院に地域医療部を立ち上げ、部長に就任。新会社「ワークフォースリデザイン」を設立し、診療所、病院、在宅、高齢者施設、障害者施設を行き来する柔軟な働き方を実践しています。

講演は、校歌の一節『さらばいざもろともに』を演題に、幼いころ抱いたご自身の



講演を行う齋藤講師

夢「大きくなったらお医者さんになる」の実現に向け、医学部を卒業後、救急救命・地域医療の現場で、多くの先生との出会いを通して、医療のあるべき姿を見つけていく過程をお話しいただきました。

「何かあったら人に聞く。

その時々背中を押しても良かった。『自立とは依存先を増やすこと』という言葉に従って、これからもいろんな人に聞きながら自立していく。そして、『さらばいざもろともに』ふるさとの地域の皆さんと一緒に地域医療を作り上げていきます。」と意気込みを語られました。

講演の後、生徒の代表6名と「自身の夢」についてパネルディスカッションを行いました。



創立100周年

記念祝賀会を開催

創立100周年記念式典終

了後、会場をインターナショナルリゾートホテル湯楽城（富里市）に移し、18時から祝賀会が開催され、約100人が出席しました。

祝賀会では、宇野裕・高橋秀典の両県議会議員の他、宮内康幸匝瑳市長、佐藤晴彦横芝光町長、平山富子多古町長ら近隣の首長にも参加していただきました。

祝賀会のアトラクションとして、落語家・桂右女助師匠（「梅田勝之さん」高33）が軽妙な語り口で「匝瑳の歴



講演をする桂右女助さん

桂右女助さんプロフィール

1962年生まれ。
匝瑳高校（普通科）卒業、旅行会社添乗員に従事した後、8代目三升屋小勝に入門。
2013年、千葉大学文学部史学科に50歳で入学。同年、「楨の家」で第56回千葉文学賞を受賞。
2015年、4代目桂右女助を襲名し真打昇進。同年「初音の日」で第10回ちよだ文学賞を受賞。
2020年、大学卒業。同年、「直木抄」で第19回湯河原文学賞を受賞。
一般社団法人落語協会所属。



關総務委員長による万歳三唱

史」について話され、会場は大いに盛り上がりました。

旧制匝瑳中学・匝瑳高校の校歌の声高らかな合唱、關範雄期成会総務委員長の万歳三唱で100周年記念式典の祝賀会はお開きとなりました。

◀ 創立100周年記念事業 概要報告 ▶

創立100周年記念事業の実施にあたり、期成会では、募金目標金額を3,500万円に設定しました。
皆様から頂いた募金は、(1) 式典・記念誌・事務費、(2) 教育環境・設備充実事業費、(3) 教育振興助成事業費として活用し、具体的には以下の事業を実施いたします。

※事業内容は令和6年12月末現在のものです。なお、最終的な決算については定例総会でお示しいたします。

【募金額】

目標額 35,000,000円

寄付金総額 42,677,132円（令和6年11月18日現在）

※高額募金者（10万円以上） 個人65名、企業6社

【予算】

- | | |
|------------------|---------|
| (1) 式典・記念誌・事務費等 | 1,500万円 |
| (2) 教育環境・設備充実事業費 | 1,000万円 |
| (3) 教育振興助成事業費 | 1,000万円 |

【事業内容】

(1) 式典・記念誌・事務費等

- | | |
|-----------|---|
| ①記念式典挙行 | |
| ②記録映像配信 | ▶ 記念式典および講演会の撮影および配信
過去の記録映像の編集および配信 |
| ③千葉日報特集記事 | ▶ 令和6年11月8日号（朝刊）に特集記事を掲載 |
| ④記念品作成 | ▶ 名入りボールペン…2,000本
▶ クリアファイル…3,000枚 |

(2) 教育環境・設備充実事業

- | | |
|-----------------|--|
| ①防犯カメラ設置 | ▶ 防犯カメラ5台を整備
※県教育委員会が設置する防犯カメラ（3台）と併せて、校内に合計8台を設置予定 |
| ②高輝度プロジェクター購入 | ▶ 体育館での行事等に使用できるプロジェクターを整備 |
| ③行事等撮影用高性能カメラ購入 | |
| ④生徒用机の天板拡張器具購入 | ▶ 720台購入 生徒が使用するノートパソコンやタブレットが置けるよう整備 |
| ⑤校歌CD作成 | ▶ 歌：東京混声合唱団 オーケストラ
※高校・中学の両方を録音し、300枚を量産 |

(3) 教育振興助成事業費

教育振興に資する以下の事業を実施します。

学力向上対策費・情報教育充実費・理数教育充実費・国際理解教育充実費・部活動活性化対策費
定時制教育振興費（教科書無償支給）

※教育振興助成事業は90周年からの継続になります。

【寄付金残金の対応】

90周年記念事業と同様に、同窓会の特別会計として引き継ぎ、その会計管理は同窓会で行います。

事業は「創立100周年教育環境整備事業」として実施し、実施にあたっては学校と同窓会で協議し、直近の同窓会総会において報告し承認を受けます。



校内に設置した防犯カメラ



タブレットが置けるよう拡張した机



校歌のCD

記念式典映像は



<https://youtu.be/UVdRLB3a8u4>

記念講演会映像は



<https://youtu.be/PW5zDy0-6tw>

100年振り返り映像は



<https://youtu.be/J9ggL3Dd674>